

製品名: VHX ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19792**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	21kDa

抗原情報

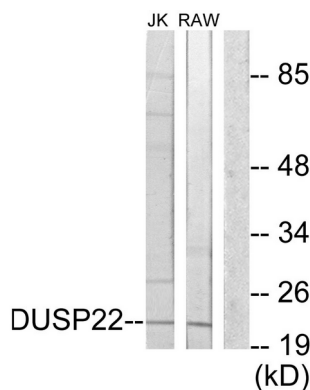
遺伝子名	DUSP22
別名	DUSP22; JSP1; LMWDSP2; MKPX; Dual specificity protein phosphatase 22; JNK-stimulatory phosphatase-1; JSP-1; Low molecular weight dual specificity phosphatase 2; LMW-DSP2; Mitogen-activated protein kinase phosphatase x; MAP kinase phosphatase
遺伝子 ID	56940.0
SwissProt ID	Q9NRW4
免疫原	抗血清はヒト DUSP22 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

背景

触媒活性: リン酸化タンパク質 + H(2)O = タンパク質 + リン酸。触媒活性: タンパク質チロシンリン酸 + H(2)O = タンパク質チロシン + リン酸。機能: Jnk シグナル伝達経路を活性化します。p38 およびストレス活性化タンパク質キナーゼ/c-Jun N 末端キナーゼ (SAPK/JNK) を脱リン酸化して不活性化します。類似性: タンパク質チロシンホスファターゼファミリーに属します。非受容体クラス二重特異性サブファミリー。類似性: 1つのチロシンタンパク質ホスファターゼドメインを含みます。組織特異性: 普遍的。心臓、胎盤、肺、肝臓、腎臓、膵臓で最も高い発現が認められる。触媒活性: リン酸化タンパク質 + H(2)O = タンパク質 + リン酸。触媒活性: タンパク質チロシンリン酸 + H(2)O = タンパク質チロシン + リン酸。機能: Jnk シグナル伝達経路を活性化する。p38 およびストレス活性化タンパク質キナーゼ/c-Jun N 末端キナーゼ (SAPK/JNK) を脱リン酸化および不活性化する。類似性: タンパク質チロシンホスファターゼファミリーに属する。非受容体クラス二重特異性サブファミリー。類似性: 1つのチロシンタンパク質ホスファターゼドメインを含む。組織特異性: 普遍的。心臓、胎盤、肺、肝臓、腎臓、膵臓で最も高い発現が認められる。、

研究分野

画像データ



DUSP22 抗体を用いた RAW264.7 細胞および Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。